



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 東映株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9605 URL <http://www.toei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 安田 健二 (TEL)03(3535)4641  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	61,758	9.5	6,542	14.4	7,645	19.4	3,723	28.0
25年3月期第2四半期	56,397	2.6	5,717	11.8	6,402	11.3	2,908	7.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,168百万円(202.2%) 25年3月期第2四半期 2,371百万円(47.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	29 50	
25年3月期第2四半期	23 03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	221,492	133,383	49.0
25年3月期	224,159	127,233	46.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 108,542百万円 25年3月期 103,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		3 00		4 00	7 00
26年3月期		3 00			
26年3月期(予想)				3 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期 期末配当4円00銭には、特別配当1円00銭が含まれております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,500	11.8	10,300	26.8	11,800	24.3	5,500	18.5	43 59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	147,689,096株	25年3月期	147,689,096株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

26年3月期2Q	21,500,178株	25年3月期	21,498,015株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	126,190,007株	25年3月期2Q	126,272,684株
----------	--------------	----------	--------------

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
（1）経営成績に関する説明 .....	2
（2）財政状態に関する説明 .....	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
（1）四半期連結貸借対照表 .....	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
（継続企業の前提に関する注記） .....	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	10
（セグメント情報等） .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などによって輸出や生産が持ち直し、消費動向も改善するなど景気回復に向けた動きがあるものの、米国金融政策を巡る思惑や新興国経済の減速に対する懸念などを背景に、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで当社グループは、映像関連事業におきましては、映像3部門（映画製作配給業・ビデオ事業・テレビ事業）の連携強化や興行関連事業・催事関連事業の積極展開等によって収益の拡大をはかるとともに、観光不動産事業・その他事業の各部門におきましても厳しい事業環境に対応して堅実な営業施策の遂行に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は617億5千8百万円(前年同四半期比9.5%増)、経常利益は76億4千5百万円(前年同四半期比19.4%増)となり、四半期純利益は37億2千3百万円(前年同四半期比28.0%増)となりました。

次に各セグメント別の概況をご報告申し上げます。

なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

#### 映像関連事業部門

映画製作配給業では、提携製作作品等13本を配給し、「劇場版 仮面ライダーウィザード インマジックランド/劇場版 獣電戦隊キョウリュウジャー ガ布林チョ・オブ・ミュージック」がヒットしたほか、「仮面ライダー×スーパー戦隊×宇宙刑事 スーパーヒーロー大戦Z」「探偵はB A Rにいる2 ススキノ大交差点」が好調な成績を収めました。また、「HK 変態仮面」も小規模展開ながら好稼働しました。なお、前事業年度における公開作品のうち「ドラゴンボールZ 神と神」(3月30日公開)が引き続き大ヒットしました。

ビデオ事業では、主力の劇場用映画のDVD作品に加えて、テレビ映画のDVD作品を販売いたしました。

テレビ事業では、「警視庁捜査一課9係」「京都地検の女」等を制作して作品内容の充実と受注本数の確保に努め、キャラクターの商品化権営業が堅調に推移しました。

そのほか、劇場用映画等のテレビ放映権及びビデオ化権等を販売し、アニメ関連では、「ドラゴンボール」シリーズの国内版權事業が好調でした。

以上により、当部門の売上高は388億8千1百万円(前年同四半期比9.6%増)、営業利益は43億2千3百万円(前年同四半期比15.6%増)となりました。

#### 興行関連事業部門

映画興行業では、㈱ティ・ジョイ運営のシネコンが堅調に稼働し、194スクリーン体制(東映㈱直営館4スクリーン含む)で展開しております。

以上により、当部門の売上高は91億6千6百万円(前年同四半期比10.5%増)、営業利益は8億8千9百万円(前年同四半期比23.8%増)となりました。

#### 催事関連事業部門

催事業業では、「ワンピースグランドアリーナツアー」や「ドキドキ!プリキュア ラブリーカーニバル」、人気キャラクターショーなど各種イベントの提供を行うとともに、映画関連商品の販売など積極的な営業活動を展開いたしました。また、東映太秦映画村も引き続き好調に推移しました。

以上により、当部門の売上高は64億4百万円(前年同四半期比16.8%増)、営業利益は12億4千5百万円(前年同四半期比5.0%増)となりました。

#### 観光不動産事業部門

不動産賃貸業では、「プラッツ大泉」「オズ スタジオ シティ」「新宿三丁目イーストビル」「渋谷東映プラザ」「仙台東映プラザ」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が堅調に稼働いたしました。ホテル業においては、回復傾向にある需要に伴う集客競争による価格競争の激化により、業界環境は厳しい状況にありましたが、各ホテルとも収益の確保に向け懸命に営業活動を展開いたしました。

以上により、当部門の売上高は29億4千3百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益は10億4千8百万円(前年同四半期比10.3%減)となりました。

#### その他の事業部門

その他の事業では、景気の先行きが不透明な状況のさなか、堅実な営業活動を展開いたしました。

その結果、売上高は43億6千3百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業利益は1億6千4百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における総資産は、2,214億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億6千7百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が13億1千2百万円、仕掛品が16億5千1百万円、繰延税金資産が9億7千4百万円減少し、投資有価証券が36億9千2百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間における負債の部は、881億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億1千6百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が49億1千3百万円、1年内返済予定の長期借入金が11億7千4百万円、1年内償還予定の社債が25億円減少し、長期借入金が増加した28億6千2百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間における純資産の部は、1,333億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億4千9百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が32億7百万円、その他有価証券評価差額金が19億5千8百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年11月12日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました通り変更しております。なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,823	32,763
受取手形及び売掛金	14,673	13,360
商品及び製品	794	692
仕掛品	6,712	5,061
原材料及び貯蔵品	521	253
その他	5,124	4,478
貸倒引当金	107	152
流動資産合計	60,542	56,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,032	37,642
土地	43,889	43,989
その他(純額)	5,648	5,526
有形固定資産合計	87,570	87,158
無形固定資産		
856	856	959
投資その他の資産		
投資有価証券	62,882	66,574
その他	13,203	11,140
貸倒引当金	895	798
投資その他の資産合計	75,190	76,916
固定資産合計	163,617	165,034
資産合計	224,159	221,492
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,628	15,714
短期借入金	300	900
1年内返済予定の長期借入金	4,410	3,236
1年内償還予定の社債	5,000	2,500
未払法人税等	3,585	2,808
賞与引当金	920	971
その他	10,736	8,547
流動負債合計	45,580	34,678
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	16,697	19,560
退職給付引当金	4,139	4,242
役員退職慰労引当金	881	890
その他	20,626	19,738
固定負債合計	51,345	53,430
負債合計	96,925	88,109

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,707	11,707
資本剰余金	21,742	21,742
利益剰余金	65,776	68,983
自己株式	7,515	7,517
株主資本合計	91,710	94,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,919	4,877
繰延ヘッジ損益	172	225
土地再評価差額金	8,532	8,532
為替換算調整勘定	126	9
その他の包括利益累計額合計	11,498	13,626
少数株主持分	24,025	24,840
純資産合計	127,233	133,383
負債純資産合計	224,159	221,492

## ( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	56,397	61,758
売上原価	38,194	42,441
売上総利益	18,203	19,317
販売費及び一般管理費		
人件費	4,686	4,920
広告宣伝費	770	827
賞与引当金繰入額	694	729
退職給付費用	507	425
減価償却費	635	695
その他	5,191	5,176
販売費及び一般管理費合計	12,485	12,774
営業利益	5,717	6,542
営業外収益		
受取配当金	278	384
持分法による投資利益	512	872
その他	271	190
営業外収益合計	1,061	1,447
営業外費用		
支払利息	315	264
その他	60	80
営業外費用合計	376	344
経常利益	6,402	7,645
特別利益		
投資有価証券売却益	-	22
ゴルフ会員権償還益	-	21
保険差益	56	-
その他	5	-
特別利益合計	61	44
特別損失		
減損損失	241	-
貸倒損失	221	-
固定資産除却損	39	34
投資有価証券評価損	131	4
特別損失合計	633	39
税金等調整前四半期純利益	5,831	7,649
法人税、住民税及び事業税	1,947	2,907
法人税等調整額	88	43
法人税等合計	2,035	2,951
少数株主損益調整前四半期純利益	3,795	4,698
少数株主利益	887	975
四半期純利益	2,908	3,723



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,795	4,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,410	1,887
土地再評価差額金	3	-
為替換算調整勘定	33	271
持分法適用会社に対する持分相当額	43	310
その他の包括利益合計	1,423	2,470
四半期包括利益	2,371	7,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,605	5,851
少数株主に係る四半期包括利益	766	1,317

## ( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,831	7,649
減価償却費	1,528	1,638
貸倒引当金の増減額 ( は減少 )	761	51
退職給付引当金の増減額 ( は減少 )	60	103
賞与引当金の増減額 ( は減少 )	43	51
受取利息及び受取配当金	316	423
支払利息	315	264
持分法による投資損益 ( は益 )	512	872
投資有価証券評価損益 ( は益 )	131	4
売上債権の増減額 ( は増加 )	996	1,387
仕入債務の増減額 ( は減少 )	774	4,798
たな卸資産の増減額 ( は増加 )	969	2,021
預り保証金の増減額 ( は減少 )	453	861
その他	399	1,833
小計	6,180	4,281
利息及び配当金の受取額	491	771
保険金の受取額	172	-
利息の支払額	321	267
法人税等の支払額	2,497	3,611
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,025</b>	<b>1,174</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	3,141	59
定期預金の払戻による収入	4,138	638
有形固定資産の取得による支出	93	1,006
無形固定資産の取得による支出	74	203
投資有価証券の取得による支出	2	2
投資有価証券の売却による収入	6	32
貸付けによる支出	52	161
貸付金の回収による収入	70	106
差入保証金の増減額 ( は増加 )	41	168
その他	122	87
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>686</b>	<b>911</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の償還による支出	-	2,500
短期借入金の純増減額(は減少)	30	600
長期借入れによる収入	1,600	6,400
長期借入金の返済による支出	3,891	4,711
リース債務の返済による支出	273	247
配当金の支払額	516	515
少数株主への配当金の支払額	497	501
その他	62	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,671	1,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	233
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,062	981
現金及び現金同等物の期首残高	26,113	30,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,176	29,290

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	35,475	8,296	5,481	3,039	4,104	56,397		56,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	964	68	226	397	112	1,769	1,769	
計	36,440	8,364	5,708	3,437	4,216	58,167	1,769	56,397
セグメント利益	3,741	718	1,186	1,168	160	6,975	1,258	5,717

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事・室内装飾請負等に関する事業、物品の販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 1,258百万円には、セグメント間取引消去 112百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,145百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	38,881	9,166	6,404	2,943	4,363	61,758		61,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,206	95	253	430	311	2,297	2,297	
計	40,087	9,261	6,658	3,374	4,674	64,056	2,297	61,758
セグメント利益	4,323	889	1,245	1,048	164	7,672	1,130	6,542

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事・室内装飾請負等に関する事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 1,130百万円には、セグメント間取引消去 59百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,071百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。